

インターンシップ制度に関する調査

- 浸透するインターンシップ制度
「インターンシップは就職活動の入り口」と考える大学3年生は79%
- インターンシップへの参加理由は「働くことがどのようなものかを知るため」68%
- 実践的な経験ができるプログラムが人気
希望するプログラムは「実践に近い形で、業務の一部を体験する」83%

2007年6月11日
株式会社マクロミル
(証券コード: 東証一部 3730)

インターネット調査会社の株式会社マクロミル(本社: 東京都港区、社長: 辻本秀幸)は、卒業後に就職を希望している全国の大学3年生を対象に、「インターンシップ制度に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間 2007年5月24日(木)~5月25日(金)。有効回答数は、515名の大学3年生から得られました。

※今回の調査では、実際にインターンシップ制度を経験したことのある全国の大学4年生(卒業後就職希望者)を対象に「インターンシップ経験に関する調査」(有効回答数は103名)を同手法にて実施し、参考データとして記載しています。

【調査結果概要】

【1】 浸透するインターンシップ制度 「インターンシップは就職活動の入り口」と考える大学3年生は79%

卒業後に就職を希望している大学3年生に、インターンシップ制度を知っているか尋ねたところ、「仕組みや概要を知っている」が55%、「名前を知っている程度」は41%、合計で97%の人が「知っている」と回答しました。

また、インターンシップは就職活動の入り口であると思うかどうか尋ねたところ、そう思う(「そう思う(33%)」+「ややそう思う(46%)」)と答えた人は合計で79%となりました。

就職を考えている大学3年生に、インターンシップ制度が広く認知されている状況がうかがえます。

【2】 インターンシップへの参加理由は「働くことがどのようなものかを知るため」68%

インターンシップ制度を「知っている」大学3年生に、参加したいと思うかどうか尋ねたところ、「是非参加したい(既に応募している)」が28%、「機会があれば参加してみたい」は60%と、合計で88%の人が「参加したい」と回答しました。

「参加したい」と回答した人に参加したいと思う理由を尋ねたところ、「働くことがどのようなものかを知る」が68%でトップでした。次いで「希望する仕事の実務を体験したいから」が61%、「業界研究のため」が54%となりました。

【3】 実務的な経験ができるプログラムが人気 希望するプログラムは「実践に近い形で、業務の一部を体験する」83%

インターンシップの参加意向者に、希望するインターンシップについて尋ねたところ、プログラム内容は「実践に近い形で、業務の一部を体験する」(83%)、実施期間に関しては「1週間以上~2週間未満」(44%)がそれぞれトップでした。

「インターンシップ制度に関する調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	大学卒業後に就職を考えている 20~22 歳の大学 3 年生 (マクロミルモニタ会員の男女)
有効回答数:	515 サンプル
調査日時:	2007 年 5 月 24 日 (木) ~ 5 月 25 日 (金)
調査機関:	株式会社マクロミル

■ 浸透するインターンシップ制度

「インターンシップは就職活動の入り口」と考える大学 3 年生は 79%

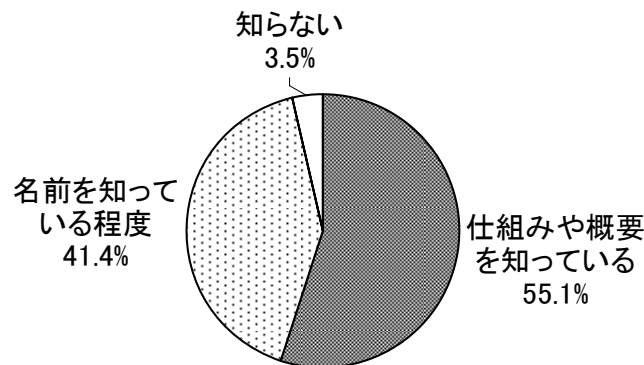
卒業後に就職を希望している大学 3 年生に、インターンシップ制度を知っているか尋ねたところ、「仕組みや概要を知っている」が 55%、「名前を知っている程度」は 41%、合計で 97%の人が「知っている」と回答しました。【図 1】。

また、インターンシップは就職活動の入り口であると思うかどうか尋ねたところ、そう思う（「そう思う (33%)」 + 「ややそう思う (46%)」) と答えた人は 79%となりました【図 2】。

就職を考えている大学 3 年生に、インターンシップ制度が広く認知されている状況がうかがえます。

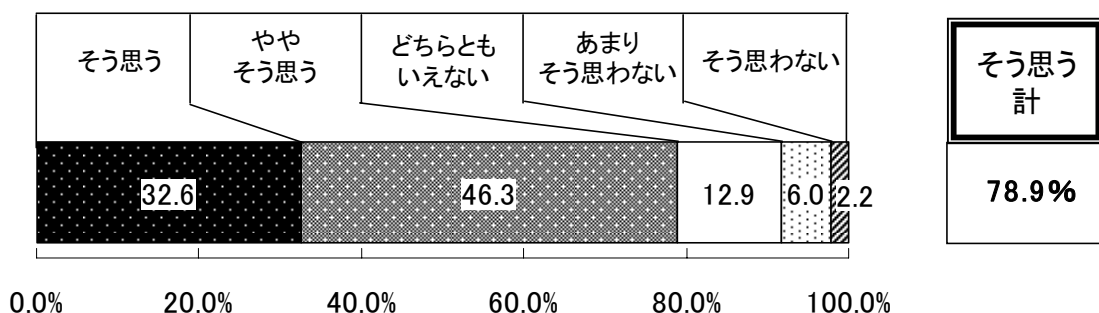
【図 1】インターンシップ制度の認知状況

Q. あなたは、企業等で一定期間就業体験ができる「インターンシップ制度」をご存知ですか？
<ベース:大学 3 年生 n=515>



【図 2】インターンシップに対する意識

Q. インターンシップは就職活動の入り口だと思いますか？
<ベース:大学 3 年生 インターンシップ認知者 n=497>

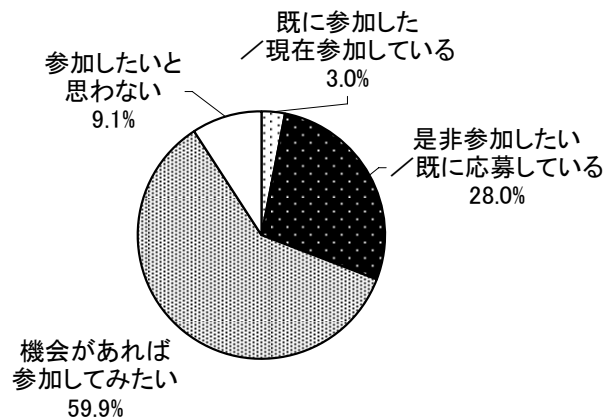


■ インターンシップ「参加したい」(「是非参加したい(既に応募した/現在参加している)」+「機会があれば参加してみたい」)88%が回答

インターンシップ制度を「知っている」大学3年生に、参加したいと思うかどうか尋ねたところ、「是非参加したい(既に応募している)」が28%、「機会があれば参加してみたい」は60%と、合計で88%の人が「参加したい」と回答しました。【図3】。

【図3】インターンシップ参加意向

Q. あなたは、インターンシップに参加したいと思いますか？
 <ベース:大学3年生 インターンシップ認知者 n=497>

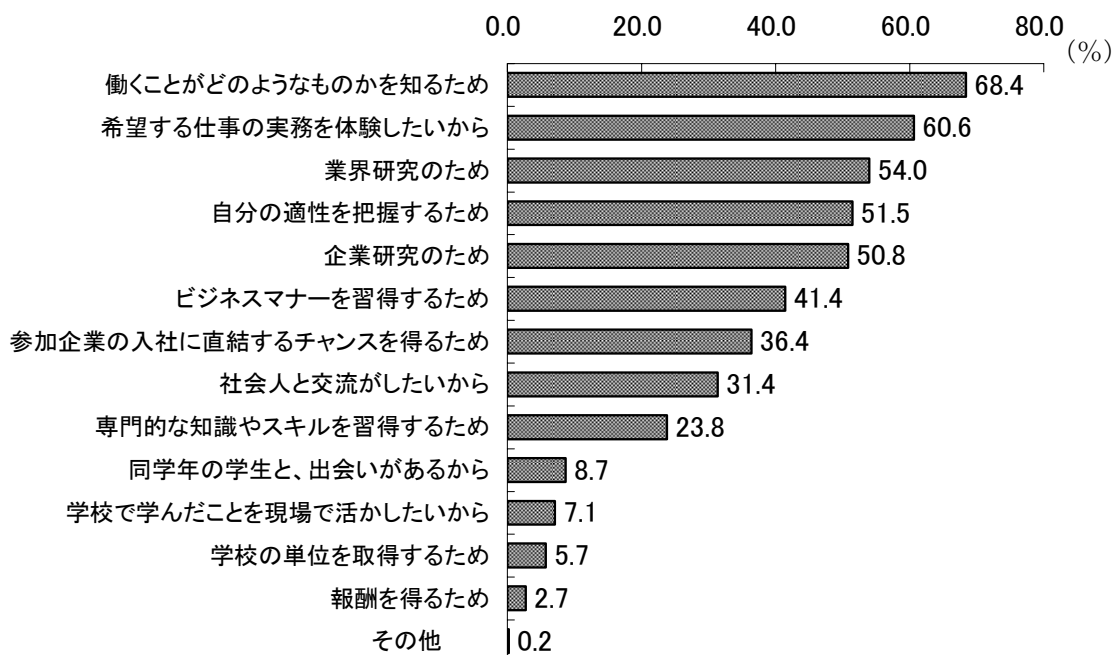


■ インターンシップへの参加理由は「働くことがどのようなものかを知るため」68%

インターンシップに参加したいと回答した人に参加目的を尋ねたところ、「働くことがどのようなものかを知る」が68%でトップでした。次いで「希望する仕事の実務を体験したいから」が61%、「業界研究のため」が54%となりました【図4】。

【図4】インターンシップ参加意向理由

Q. あなたがインターンシップに参加したいと思う理由を全てお知らせください。(いくつでも)
 <ベース:大学3年生 インターンシップ参加意向者 n=437>

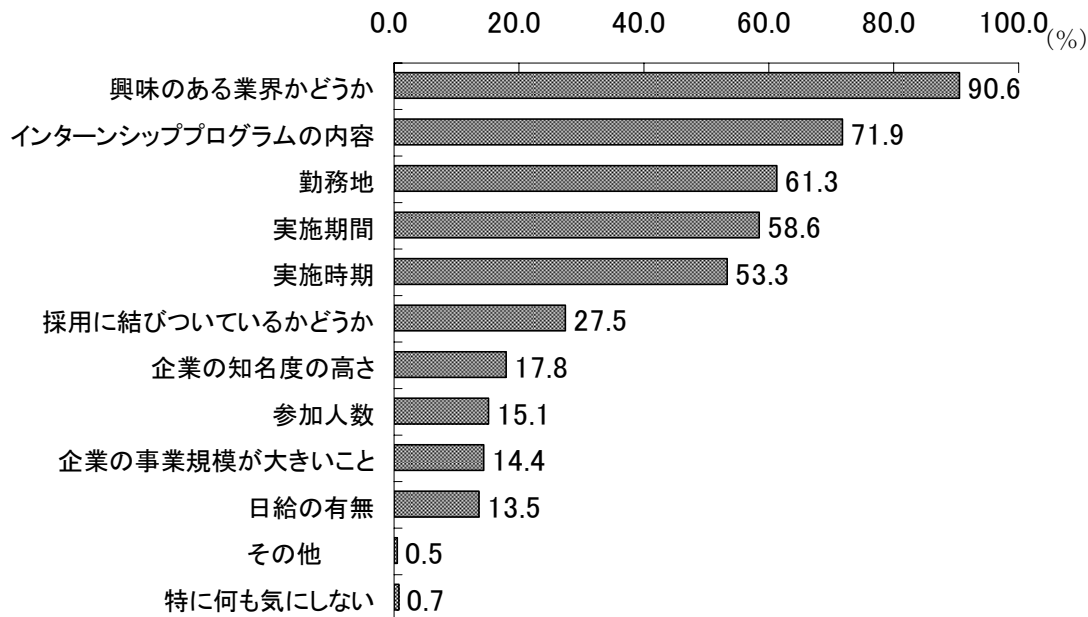


■ インターンシップ先の企業を選ぶ際、重視ポイントは「興味ある業界かどうか」(91%)

インターンシップの参加意向者(「是非参加したい(既に応募している)」+「機会があれば参加してみたい」)に、インターンシップ先の企業を選ぶ際、どのようなポイントを重視するか尋ねたところ、「興味ある業界かどうか」(91%)がトップでした。次いで「インターンシッププログラムの内容」(72%)、「勤務地」(61%)という結果になりました【図5】。

【図5】インターン先を選ぶ時の重視ポイント

Q. あなたがインターンシップ先を選ぶ際、どのようなポイントを重視しますか？(いくつでも)
<ベース:大学3年生 インターンシップ参加意向者 n=437>



■ 希望するインターンシップ形態

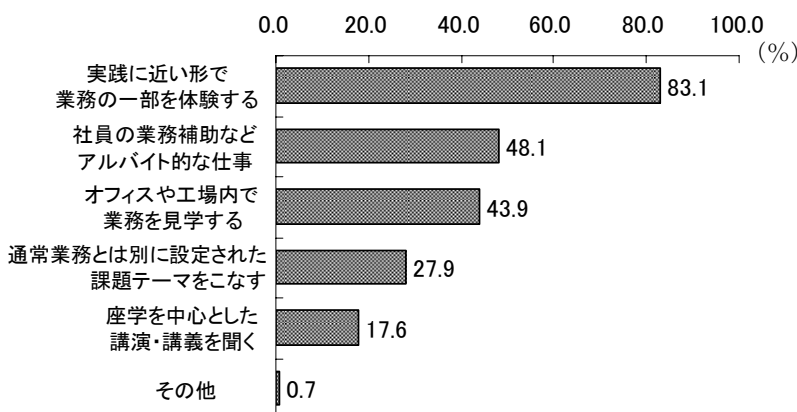
プログラム内容は「実践に近い形で、業務の一部を体験する」(83%)

実施期間は「1週間以上～2週間未満」(44%)

インターンシップの参加意向者に、希望するインターンシップについて尋ねたところ、プログラム内容は「実践に近い形で、業務の一部を体験する」(83%)【図6】、実施期間に関しては「1週間以上～2週間未満」(44%)【図7】がそれぞれトップでした。

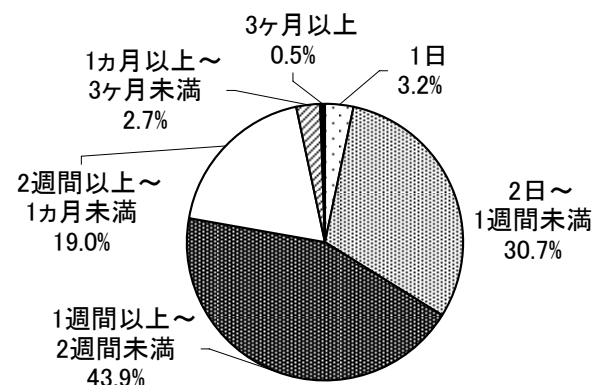
【図6】希望するプログラム内容

Q. あなたが希望したいと思うインターンシップのプログラム内容について、あてはまるタイプをお選びください。(いくつでも)
<ベース:大学3年生 インターンシップ参加意向者 n=437>



【図7】希望する実施期間

Q. あなたが希望するインターンシップの実施期間をお選びください。
<ベース:大学3年生 インターンシップ参加意向者 n=437>



【参考データ「インターンシップ経験に関する調査」 調査概要】

(インターンシップを経験した大学4年生対象)

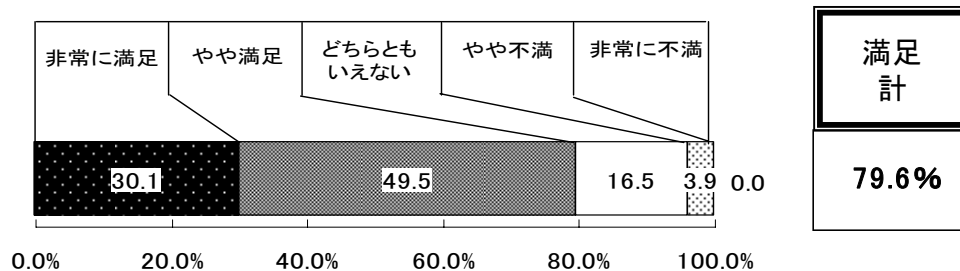
- ・調査方法: インターネットリサーチ
- ・調査地域: 全国
- ・調査対象: インターンシップを経験したことがあり、卒業後の進路として就職を希望する21~22歳の大学4年生(マクロミルモニタ会員の男女)
- ・有効回答数: 103 サンプル
- ・調査日時: 2007年5月24日(木)~5月25日(金)
- ・調査機関: 株式会社マクロミル

《参考データ1》参加したインターンシップの満足度は?

インターンシップを経験した大学4年生を対象に、参加したインターンシップに対する満足度を尋ねたところ、8割の人が「満足」(「非常に満足(30%)」+「やや満足(50%)」)と回答しました。【図8】。

参考【図8】インターンシップへの満足度

Q. インターンシップに対する満足度をお知らせください。
※複数社参加された方は、総合的にお答えください。
<ベース: 大学4年生 インターンシップ経験者 n=103>

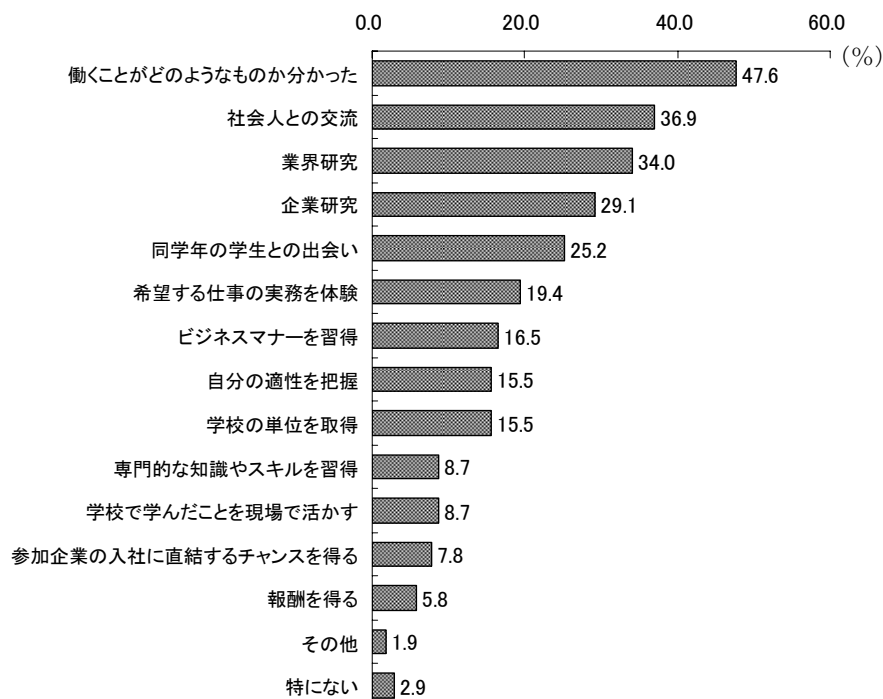


《参考データ2》インターンシップへの参加で達成できたことは?

インターンシップを経験した大学4年生を対象に、インターンシップに参加して、実際に達成できたと思えることは何か尋ねたところ、「働くことがどのようなものか分かった」が48%で最も多く、次いで「社会人との交流」(37%)、「業界研究」(34%)となりました【図9】。

参考【図9】インターンシップで達成できたこと

インターンシップに参加してみて、実際にあなたが「達成できた」と思えるのはどんなことですか? (いくつでも)
<ベース: 大学4年生 インターンシップ経験者 n=103>



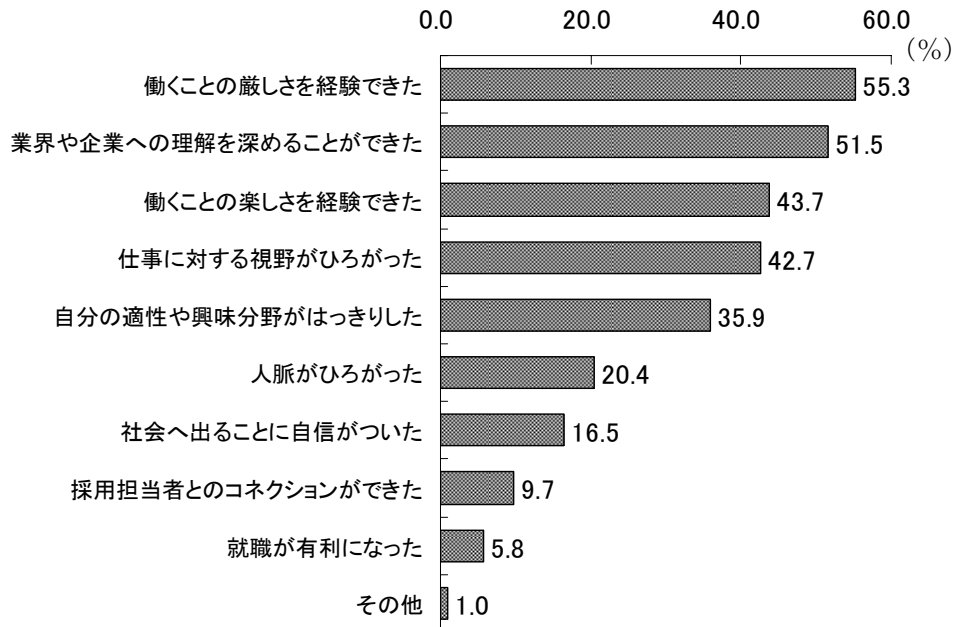
《参考データ 3》 インターンシップから得た最大の価値

インターンシップを経験して有益に感じたことは何だと思うか尋ねたところ、「働くことの厳しさを経験できた」(55%)が最多でした。次いで、「業界や企業への理解を深めることができた」(52%)、「働くことの楽しさを経験できた」(44%)となりました。

【図 10】。

参考【図 10】インターンシップから得た価値

Q. インターンシップを経験して、あなたが有益だと感じた点をお選びください。(いくつでも)
<ベース: 大学4年生 インターンシップ経験者 n=103>

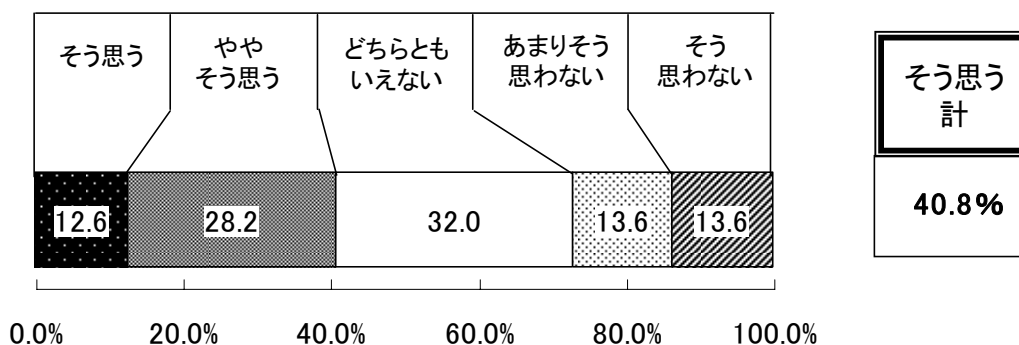


《参考データ 4》 インターンシップ制度は、学生の囲い込みに有効な手段となるか?

インターンシップを経験した大学4年生に、インターンシップ先の企業に就職したいと感じたかどうか尋ねたところ、約3人に1人は「そう思う」(「そう思う」+「ややそう思う」)(41%)と回答しました【図 11】。

参考【図 11】インターンシップ先企業への意識

Q. インターンシップ先の企業に就職したいと感じましたか?
<ベース: 大学4年生 インターンシップ経験者 n=103>



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内50万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000年1月31日
資本金 ■9億1,243万円 ※2006年12月末現在
上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
代表者 ■代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数 ■211名 ※2007年5月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：関・西沢
東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー5F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」